

郡山高等学校 オーストラリア研修 12 日目報告書

いよいよ現地でのプログラム最終日を迎えました。今日は環境学習の一貫として、クイーンズランド大学を訪問。クイーンズランド大学(UQ)はブリスベン市内にある州内最古の総合大学であり、「Group 8」と呼ばれる豪内トップの名門 8 大学の 1 校です。大学までの道中、到着日に立ち寄ったサウスバンクが窓から見ると、「ここ初日に来たよね」と生徒さんの声があちらこちらから聞こえ、時の流れの速さを感じます。

UQ に到着すると、大学生が 2 名出迎えてくれ、早速大学の太陽光発電についてのレクチャーを受けました。大学の敷地内は広大で、700 以上の建物があり、人の出入りも多い為、その分エネルギーの消費が多いことが懸念されています。そこで、大学では再生可能エネルギーについて研究する部所を作り、多くの建物にソーラーパネルが取り付けられており、大学内の 5%のエネルギーがソーラーパネルで賄われているとのこと。大学だけでなく、クイーンズランド州全体で、2030 年までに再生可能エネルギーの普及率を 50%へ引き上げることが目標としているそうです。説明後、質疑応答の時間をとったのですが、真っ先にある生徒さんが手を挙げ、「ソーラーパネルの設置などはコストがかかり、赤字にはならないのか」との質問ができました。こういった集団の場で、発言できるのは、積極性と自信が身についてきた証拠です。貴校生の質問に対して、資料等の情報提供からわずかの利益が出ているということをお教えいただきました。

そして、今日はこの研修期間中、全てのプログラムに参加してくれたヨハナ先生とのお別れの日でもありました。お礼の言葉と共にハグし合う姿を見て、生徒さんが彼女のことを大好きだったことが伝わりました。いつも笑顔で、生徒一人一人に笑顔で話しかけてくれる優しい先生でした。

いよいよ今夜は、約 2 週間お世話になったホストファミリーと過ごす最後の夜です。生徒さんの中には、感謝の手紙を準備していたり、「なぜ、受け入れてくれたのか」を聞こうと準備している方もいました。昨日、研修でのやり残しがないかを投げかけさせて頂いた際、何名かの生徒さんはまだ、心残りがあるようです。今夜、少しの勇気を持ち、行動を起こして、自分自身の目標を達成して欲しいと思います。現地からの報告は今日で最後とさせていただきますが、到着後、先生方、保護者の皆様へ元気な生徒さんの姿を見せられるよう、安全管理をしっかりし、最後までサポートさせていただきます。

以上研修 12 日目の報告と致します。



UQ①



UQ②



UQ③



UQ④



カンガルー・ポイント



ヨハナ先生とのお別れ

郡山高等学校様

8月2日(木) 正午

いつもお世話になっております。

先程、ブリスベン空港に到着し、順調にチェックイン、搭乗手続きを済ませ、搭乗までの少しの間、フリータイムを取っています。

少し鼻水が出たりする生徒さんもいらっしゃいますが、

大きく体調を崩されている生徒さんはおらず、皆さん元気です。

飛行機は定刻に出発予定です。

何卒宜しくお願い致します。

アイエスエイ